

2019年度 日本世代間交流協会セミナー

高齢化社会において音楽が創りだす貢献とは  
—「記憶」でつながるコミュニティから考える—

2019年

無料  
予約不要

12月3日(火) 18:30~20:00

於 1階・多目的室(1)

講師: 小泉 恭子氏

(大妻女子大学 社会情報学部教授)



【プロフィール】

東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。Ph. D. (ロンドン大学)。愛知教育大学教育学部准教授等を経て、2015年より現職。音楽社会学の専門家として、『音楽をまとう若者』(2007)、『メモリースケープ—「あの頃」を呼び起こす音楽』(2013)など著書も多数執筆。社会教育では、世田谷市民大学や茨城県県民大学で講師を務めた。若者から高齢者まで、音楽の聴き手の調査を継続している。

音楽にまつわる思い出は個人的なものと思われがちですが、若いころに家族や友人とともに聴いたり歌ったりした集合的な記憶が人生に積み重なり、新たなつながりを招くきっかけになっています。ライフヒストリー調査や高齢者の音楽コミュニティでの参与観察を軸に、若者との交流の可能性についても考えます。

お問い合わせ

東京都健康長寿医療センター研究所

社会参加と地域保健研究チーム 大都市高齢者基盤 村山(陽)

● E-mail: [yhoyho05@tmig.or.jp](mailto:yhoyho05@tmig.or.jp)

● TEL: 03-3964-3241 (内線4259)